

令和7年度 江戸川区立篠崎第四小学校 学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・「よく考え、つくり出す子」 ・「みんなとともにのびる子」 ・「たくましく生きる子」		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・安全で心地よい学校・子供を大事にする学校・学ぶ喜びを知る学校・地域と共に歩む学校 ・主体的に学び、自分の成長を喜び、学びに意欲をもって取り組む子・自他の生命を尊び生命相手の立場や気持ちを考えて行動できる子・運動の楽しさを味わい心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる子 ・子供を愛し大切にする教師・学校の仲間、地域、自分を大切にする教師・専門性を持ち、教育のプロとして自己肯定感を持つ教師
前年度までの本校の現状	成果	○篠四スタンダードに取り組み、落ち着いた学習環境で学ぶことができた。 ○開校50周年記念行事に取り組み、学校・地域に対する愛情を振り返ることができた。 ○地域・外部との体験的な学習に取り組み、楽しい学校生活を推進することができた。 ○縄跳びや篠四ダンス、持久走など体力向上の取り組みを持続させることができた。	課題	●いじめアンケートの確実な実施・研修に取り組んだが、個別対応で課題が残った。 ●ユニバーサルデザインを念頭に授業改善に取り組んだが、基礎学力の定着にはさらなる学習の積み重ねが必要である。 ●個々のコミュニケーション力の育成、安心・安全な学校づくりについては、改善を続けていきたい。 ●教職員の働き方改革には、引き続き取り組み、児童のための活力ある学校づくりをすすめていきたい。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				9月	2月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力向上	○学力の向上のための学習の習慣化	・ベーシックタイムの実施 ・習熟の学習時間の確保 ・家庭や放課後学習教室と連携した毎日の家庭学習	・学力向上への取り組みの肯定的意見の割合を80%以上	92		B	学習時間について、確保しているが、有効に時間を使い、成果が上がるよう、努力する。	A	アンケートでは、92%の肯定的回答を得た。引き続き協力・連携をお願いし、学力の向上に務めてほしい。					
	○個に応じた指導の充実	・ユニバーサルデザインや体験を生かした授業改善 ・個が主体の楽しい授業 ・ICTの活用	・学習に楽しく取り組んでいる・主体的な学習の肯定的意見の割合80%以上	86		B	主体的な学びについては、各教科で校内研究も含め、全校で授業改善に取り組んでいる。	B	アンケートでは、86%の肯定的回答を得た。Aの回答は30%にとどまっているので、今後も努力をしていってほしい。					
	○読書科の更なる充実	・篠崎子ども図書館による資料準備・整備を活用 ・学校応援団との連携 ・ICTの活用	・図書等を活用した学習に取り組んでいるの肯定的意見の割合を80%以上	89		B	資料準備・整備を行い、使いやすい環境を整えた。応援団の読み聞かせもしていただき、本に親しみ、ICTの活用もできた。	B	アンケートでは、89%の肯定的回答を得たが、図書の活用については、引き続き取り組んでいく必要がある。					
体力向上	○体力向上の視点に立った取り組みの実施	・年間を通した縄跳び運動 ・行事を生かした体力向上 ・篠四ダンスの継続 ・運動量の確保された授業	・体力向上を図っているの肯定的意見の割合を80%以上	98		B	行事の取り組みで技能や体力を向上させることができた。篠四ダンスはPTAの行事でも行えた。縄跳び運動も取り組めた。	A	アンケートでは、98%の肯定的回答を得た。今後も体力向上に取り組んでほしい。					
	○歯の健康の意識化よい生活習慣の維持と改善	・毎月の歯の健康についての啓発の取り組み ・食育・家庭と連携した生活リズム週間の取り組み	・歯磨きとフッ化物洗口の実施・気持ちのよい生活、生活習慣の肯定的意見80%	96		A	フッ化物洗口が、定着し、歯の健康について、意識が高まった。3年生の歯科講話では主体的に学ぶ児童の姿であった。	A	アンケートでは、96%の肯定的回答を得た。気持ちよく過ごせるように生活習慣への呼びかけを続けたい。					
	○行事を通した体力向上	・体育学習発表会での意欲的な取り組み ・スポーツテストへのめあてを持った取り組み	・行事後アンケートの肯定的意見8割 ・スポーツテスト分析昨年結果を越える	90		A	体育学習発表会・スポーツテストの取り組みで技能や体力を向上させることができた。	A	体育学習発表会後のアンケートでは、実施時期、施設関係以外の児童の様子について、肯定的回答を得た。					
実現に向けた共生社会の推進 教育の推進	○他者との気持ちのよいコミュニケーション	・あいさつ運動の取り組み ・篠四スタンダードの全員による意識化 ・校内委員会での対応	・気持ちの良い生活にの肯定的意見の割合を80%以上	90		A	代表委員会のあいさつ運動では、児童の主体的な活動の意識が伝わった。篠四スタンダードは呼びかけを続けていく。	A	アンケートでは、100%の肯定的回答を得た。楽しく通えている状態に感謝しつつ、引き続き努力してほしい。					
	○特別支援教育への取り組み	・巡回指導教員や特別支援教室専門員の活用と連携 ・指導記録の活用と校内研修・SCとの連携	・児童理解と特別支援教育への取り組みの肯定的意見の割合を80%以上	97		B	コーディネーター、巡回指導教員との連携により、全教職員で児童の育成に取り組んでいる。引き続き努力したい。	A	アンケートでは、97%の肯定的回答を得た。Lgateや全員面接など定期的な取り組みも活用し、努力する必要がある。					
	○個に応じた指導の充実	・校内委員会での連携 ・SSWの活用 ・個別の指導の工夫	・年間2回以上の保護者面接 ・個に応じた指導の肯定的意見80%	80		B	校内委員会等の活用により全職員で連携するとともにSSW・SCなどの力も借りて、よりよい指導助言に努めた。	B	個に応じた指導のアンケートでは、97%の肯定的回答を得た。保護者面接1回目を行った。引き続き連携してほしい。					
いじめ不登校の対応	○いじめアンケートの確実な実施と対応	・全児童にアンケートを毎学期実施する。 ・全員面接を実施する。	・いじめに対する適切な指導の肯定的意見の割合を80%以上	80		B	アンケートの第1回と全員面接を行った。それ以外にもいじめの疑いがある案件にすぐ対応するよう心がけている。	B	気持ちのよい生活のための約束やきまりの定着に関するアンケートでは、97%の肯定的回答を得た。					
	○豊かな人間性の育成	・あいさつ運動 ・異学年交流（なかよし班）等の活動。 ・体験的学習の実施	・学校が楽しいの肯定的意見の割合80%以上	96		A	あいさつ運動・なかよし班活動の実施ができた。外部講師を招いた体験的学習にも取り組んでいる。	A	学校が楽しいのアンケートでは、100%の肯定的回答を得た。異学年交流の活動では、96%の肯定的回答を得た。					

充 実	○豊かな心の育成	・道徳教育の充実 ・情報モラル教育の充実 ・特別活動での集会活動	・道徳的な判断力や 心情を育てているの 肯定的意見の割合を ８０％以上	96		B	道徳授業地区公開講座では、人権にかかわる授業を全学級で行い、標語荷も取り組み意識を高めた。	A	アンケートでは、９６％の肯定的回答を得た。協力や助け合いの楽しさを引き続き味わわせていってほしい。					
学 校 開 校 地 域 社 会 実 現 されたに	○学校からの情報の積極的発信	・個人面談、保護者会、各種便り、HPでの情報発信 tetoruによる情報発信	・HPの活用等により連携しての肯定的意見の割合を８０％以上	97		B	tetoruでの発信も含め、時機を逸せず、発信するようにしている。わかりやすいよう、今後も努力していく。	A	アンケートでは、９７％の肯定的回答を得た。					
	○学校関係者評価の充実	・学校アンケートの実施と結果考察の実施 ・学校評議員との連携 ・町会行事への参加	・学校アンケートを２回行う。 ・評議員会を３回以上実施する。	80		B	学校アンケート１回目の考察を終え、改善・連携に生かしている。町会行事準備から参加した。	B	町会行事もとともに行い、地域と共に子供を見守った。学校評議員も親しく学校に来校し、安全な生活に支援してくれている。					
	OPTAとの連携	・運営委員会 ・学校応援団との連携 ・PTAイベントを生かした児童の育成	・相談しやすい開かれた学校の肯定的意見の割合を８０％以上	91		A	鹿骨区民館祭り、７丁目町会盆踊り、地域とも連携し、PTAが尽力してくださっている。	A	アンケートでは、９１％の肯定的回答を得た。オータムフェスティバルの準備の連携がありがたい。					
教 育 特 色 展 開 ある	○ユニバーサルデザインの活用による主体的に学ぶ授業方法の工夫	・ユニバーサルデザインを取り入れた、わかりやすい授業の工夫。意欲を高める工夫	・全学年の授業研究を行う ・主体的な学習の項目８０％以上	86		B	１学期に２学年の研究授業を行うとともに、講師を招いた講演会の事例研修を行い、授業方法の工夫に取り組んできた。	B	アンケートでは、８６％の肯定的回答を得た。今後も努力をお願いしたい。					
	○縦割り班等異学年交流による共にのびる子の育成	・なかよし班により、思いやりの心、責任感、自己有用感等の醸成をすすめる。 ・学年の交流で共に育つ	・異学年交流の活動への肯定的意見の割合を８０％以上	96		A	なかよし班活動、学年活動、では、互いに気遣いながら、楽しく行動することができた。	A	アンケートでは、９６％の肯定的回答を得た。					
	○6年生全員参加のマーチングバンド活動	・鹿骨区民館祭りへの参加 ・体育学習発表会 ・区民まつりへの参加	・保護者や地域と連携した教育活動の肯定的意見の割合を８０％以上	97		A	マーチングの技能向上のため教員が指導助言し、育てている。地域と共に参加し、児童の達成感も感じられた。	A	アンケートでは、９７％の肯定的回答を得た。６年生の活動には、保護者・地域が応援をしている。					